



2026年8月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年4月10日

上場会社名 株式会社良品計画 上場取引所 東
 コード番号 7453 URL <https://www.ryohin-keikaku.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 智
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部管掌 (氏名) 宝地戸 健太 TEL 03-6699-7358
 半期報告書提出予定日 2026年4月13日 配当支払開始予定日 2026年5月8日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切り捨て)

1. 2026年8月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年9月1日～2026年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期中間期	438,549	14.8	45,045	24.8	46,873	35.5	34,262	34.5
2025年8月期中間期	382,023	19.4	36,105	49.8	34,587	43.1	25,482	61.6

(注) 包括利益 2026年8月期中間期 53,336百万円 (69.2%) 2025年8月期中間期 31,522百万円 (29.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期中間期	64.57	64.51
2025年8月期中間期	48.10	48.03

(注) 当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益及び潜在株式調整後1株当たり中間純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年8月期中間期	632,115	384,304	59.6	710.12
2025年8月期	562,749	335,920	59.0	625.38

(参考) 自己資本 2026年8月期中間期 376,950百万円 2025年8月期 331,747百万円

(注) 当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	22.00	—	28.00	50.00
2026年8月期	—	16.00	—	—	—
2026年8月期（予想）	—	—	—	16.00	32.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正につきましては、本日（2026年4月10日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年8月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年8月期（予想）については、当該株式分割後の数値を記載しております。

3. 2026年8月期の連結業績予想（2025年9月1日～2026年8月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	887,000	13.0	89,000	20.5	88,000	21.7	62,000	21.9	116.80

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年4月10日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。連結業績予想における1株当たり当期純利益については、当該株式分割後の数値を記載しております。

※ 注記事項

（1）当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 （社名 合同会社 MUJI ENERGY）、除外 -社 （社名 -）

（2）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は【添付資料】P.9 「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年8月期中間期	561,560,000株	2025年8月期	561,560,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期中間期	30,731,708株	2025年8月期	31,084,078株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年8月期中間期	530,646,719株	2025年8月期中間期	529,828,670株

（注）当社は、2025年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「人と自然とモノの望ましい関係と心豊かな人間社会」を考えた商品、サービス、店舗、活動を通じて「感じ良い暮らしと社会」の実現に貢献するという企業理念のもと、国内外における店舗展開や商品供給体制の強化を進めています。

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績は、次のとおりです。

営業収益	4,385億49百万円(前年同期比 14.8%増)
営業利益	450億45百万円(前年同期比 24.8%増)
経常利益	468億73百万円(前年同期比 35.5%増)
親会社株主に帰属する中間純利益	342億62百万円(前年同期比 34.5%増)

営業収益および各段階利益は増収増益となりました。営業収益は、国内外での出店による店舗数の増加に加え、海外事業の売上が伸長したことで増収となりました。

生産体制の内製化による原価低減や、値下げの抑制等により、営業総利益率の改善が進んだ結果、営業利益は増益、営業利益率は10.3%となりました。

親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の売却益や為替差益の計上等により増益となりました。これにより、当社保有の政策保有株式は全て売却しました。

また、当中間期末における無印良品(ライセンスドストアを含む)の店舗数は、国内外計1,460店舗となりました。国内では、郊外の生活圏を中心に21店舗を出店、4店舗を閉鎖し、700店舗となりました。海外においては、東アジア事業および東南アジア・オセアニア事業を中心に48店舗を出店、17店舗を閉鎖し、760店舗となりました。特に、中国大陸事業において、店舗のスクラップアンドビルドを推進しました。

セグメントの経営成績は、次のとおりです。

① 国内事業

国内事業における当中間連結会計期間の営業収益は2,443億44百万円(前年同期比8.1%増)、セグメント利益は274億95百万円(同14.2%増)と、増収増益となりました。

システム障害の影響によりEC販売が苦戦したものの、「無印良品週間」や年末年始の「良いね祭」などのプロモーション施策が奏功したほか、出店に伴う店舗数増加により、増収となりました。また、生産体制の内製化等により営業総利益率が改善し、営業利益は増益となりました。

② 東アジア事業

東アジア事業における当中間連結会計期間の営業収益は1,360億61百万円(前年同期比23.3%増)、セグメント利益は275億65百万円(同29.0%増)と、増収増益となりました。

中国大陸事業は、中国最大のECイベントであるダブルイレブンおよび春節におけるプロモーション効果に加え、ヘルス&ビューティーをはじめとする生活雑貨および食品が牽引し、増収となりました。売上の伸長に伴う販管費率の改善により、営業利益は増益となりました。加えて、台湾事業、香港事業、韓国事業も売上が伸長し、増収増益となりました。

③ 東南アジア・オセアニア事業

東南アジア・オセアニア事業における当中間連結会計期間の営業収益は331億17百万円(前年同期比35.4%増)、セグメント利益は48億54百万円(同47.0%増)と、増収増益となりました。

新しいマネジメント体制のもと、売場の改善や販売計画の見直しを進めたこと等により、既存店売上が伸長したほか、出店効果もあり、増収増益となりました。2025年11月に開店したタイ事業、ベトナム事業の旗艦店が好調に推移し、現地のブランド認知度向上に寄与しました。

④ 欧米事業

欧米事業における当中間連結会計期間の営業収益は250億25百万円(前年同期比17.9%増)、セグメント利益は39億86百万円(同9.7%増)と、増収増益となりました。

欧州事業は販売動向を踏まえた在庫管理の徹底により既存店およびEC売上が伸長したほか、北米事業は大寒波の影響を受けながらも売上は堅調に推移し、欧米事業は増収増益となりました。収益基盤が整ったことから、当期より北米で出店を再開したほか、2027年8月期に予定しているパリ旗艦店の出店に向け、現在準備を進めています。

[ESGの取り組み]

創業時から変わらない「社会や人の役に立つ」という根本方針のもと、ESG経営のトップランナーを目指し、社会・自然環境に配慮した商品・サービスを提供し、地域への良いインパクトを実現するための取り組みを進めています。

- ・良品計画グループ統合報告書「MUJI REPORT 2025」を発行

良品計画グループの統合報告書「MUJI REPORT 2025」を2026年1月に発行しました。ESG経営のトップランナーを目指す良品計画の経営方針や事業戦略、および環境・社会・ガバナンス(ESG)への取り組みを包括的にステークホルダーに開示し、対話につなげることを目的としています。情報開示の早期化に取り組み、今年度は発行時期を前年度より2か月前倒しました。詳しくは当社コーポレートサイトのサステナビリティページを参照ください。

また2025年12月には、コーポレートサイトを約10年ぶりに全面リニューアルし、コンテンツの拡充やデザインの刷新を行いました。今後も情報開示の充実と適正化に積極的に取り組む方針です。

- ・重要課題(マテリアリティ)の見直し

当社の「重要課題(マテリアリティ)」について、事業環境や経営環境の変化を踏まえて見直しを行いました。見直しに当たっては、外部有識者からいただいた第三者視点での当社のESG取り組みへの意見を参考にしながら、経営執行会議において複数回の議論を重ねた上で、2026年2月の取締役会において決議しました。新しく設定した重要課題は以下の通りです。

1. 社会・自然環境に配慮した商品・サービスの提供
2. 気候変動への対応と資源循環の推進
3. 地域への良いインパクトの実現
4. 誠実で倫理的な事業活動の保証
5. 多様な個人が主役となる公益人本主義の実現

- ・「木の実から作ったカボック混」シリーズをさらに拡充

2025年12月より、「木の実から作ったカボック混」シリーズを順次拡大しています。カボックは東南アジアの熱帯地方に自生する樹木で、病害虫に強いため、農薬をほとんど使用することなく、少ない水や肥料で育つ植物です。その実からとれるワタ(繊維)は繊維長が短く、従来は枕やぬいぐるみなどの詰め物として使われていましたが、当社はカボックの糸を改良することで、2019年より無印良品の衣料品や生活雑貨の商品の繊維原材料として活用しています。今回さらに改良を重ねることで、「ライトデニム」、「ライトツイル」という軽くてやわらかい生地でさっと羽織ることができるシャツや、軽やかに着ることができるワンピース、およびTシャツ以上スウェット未満の程よい厚みとハリがあるカットソーを新発売しました。

(2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における当社グループの総資産は6,321億15百万円となり、前連結会計年度末に比べ693億66百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加173億18百万円、商品の増加170億59百万円、有形固定資産の増加140億27百万円および投資その他の資産のその他の増加122億65百万円によるものです。

負債は2,478億11百万円となり、前連結会計年度末に比べ、209億82百万円増加しました。これは主に、買掛金の増加65億15百万円、短期借入金の減少46億63百万円、未払法人税等の増加80億45百万円、繰延税金負債の増加66億31百万円およびリース債務の増加69億85百万円によるものです。

純資産は3,843億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ、483億83百万円増加しました。これは主に、利益剰余金の増加264億88百万円および繰延ヘッジ損益の増加121億18百万円によるものです。

この結果、連結ベースの自己資本比率は、前連結会計年度末の59.0%から59.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間の業績実績を反映するとともに、為替の前提等を見直した結果、2025年10月10日付「2025年8月期 決算短信」にて発表しました通期の業績予想を上方修正しました。詳細につきましては、本日(2026年4月10日)に公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	134,926	152,245
受取手形及び売掛金	18,024	18,834
商品	169,766	186,825
仕掛品	129	288
貯蔵品	88	87
未収入金	19,685	19,307
その他	24,453	33,611
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	367,068	411,193
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	101,579	113,110
減価償却累計額	△54,172	△59,870
建物及び構築物(純額)	47,407	53,240
機械装置及び運搬具	6,521	8,207
減価償却累計額	△4,963	△5,427
機械装置及び運搬具(純額)	1,558	2,779
工具、器具及び備品	36,503	39,453
減価償却累計額	△25,344	△27,403
工具、器具及び備品(純額)	11,159	12,049
土地	930	909
リース資産	76	76
減価償却累計額	△57	△60
リース資産(純額)	19	15
使用権資産	92,631	109,212
減価償却累計額	△47,177	△57,180
使用権資産(純額)	45,454	52,031
建設仮勘定	3,400	2,930
有形固定資産合計	109,929	123,957
無形固定資産		
のれん	173	155
ソフトウェア	40,155	40,945
その他	1,872	1,735
無形固定資産合計	42,201	42,836
投資その他の資産		
投資有価証券	2,841	—
繰延税金資産	2,186	2,431
敷金及び保証金	27,668	28,574
その他	10,934	23,199
貸倒引当金	△80	△77
投資その他の資産合計	43,549	54,127
固定資産合計	195,680	220,921
資産合計	562,749	632,115

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (2026年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	56,402	62,917
短期借入金	4,914	251
1年内返済予定の長期借入金	10,000	10,000
未払金	18,476	17,107
未払費用	12,368	13,091
未払法人税等	3,427	11,473
リース債務	13,971	16,419
賞与引当金	2,881	2,386
役員賞与引当金	504	127
その他	11,742	9,485
流動負債合計	134,689	143,260
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,824	1,106
繰延税金負債	6,276	12,907
リース債務	41,417	45,954
役員退職慰労引当金	22	25
株式給付引当金	2,691	3,142
その他	9,907	11,414
固定負債合計	92,138	104,550
負債合計	226,828	247,811
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,766	6,766
資本剰余金	31,765	31,894
利益剰余金	300,771	327,260
自己株式	△30,461	△30,091
株主資本合計	308,841	335,828
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,631	—
繰延ヘッジ損益	13,349	25,467
為替換算調整勘定	7,925	15,655
その他の包括利益累計額合計	22,906	41,122
新株予約権	344	313
非支配株主持分	3,828	7,039
純資産合計	335,920	384,304
負債純資産合計	562,749	632,115

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業収益	382,023	438,549
営業原価	186,814	208,793
営業総利益	195,208	229,756
販売費及び一般管理費	159,102	184,711
営業利益	36,105	45,045
営業外収益		
受取利息	315	261
為替差益	—	3,012
補助金収入	277	20
その他	504	257
営業外収益合計	1,097	3,552
営業外費用		
支払利息	1,294	1,524
為替差損	1,066	—
その他	254	200
営業外費用合計	2,615	1,724
経常利益	34,587	46,873
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2,367
固定資産売却益	1	5
リース条件変更利益	18	234
特別利益合計	19	2,607
特別損失		
固定資産除却損	310	110
減損損失	223	99
その他	—	0
特別損失合計	533	210
税金等調整前中間純利益	34,073	49,269
法人税等	8,358	14,451
中間純利益	25,715	34,818
非支配株主に帰属する中間純利益	233	556
親会社株主に帰属する中間純利益	25,482	34,262

(中間連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
中間純利益	25,715	34,818
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	154	△1,631
繰延ヘッジ損益	5,283	12,118
為替換算調整勘定	368	8,031
その他の包括利益合計	5,806	18,518
中間包括利益	31,522	53,336
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	31,243	52,478
非支配株主に係る中間包括利益	279	858

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	34,073	49,269
減価償却費	12,065	13,939
ソフトウェア償却費	3,500	4,228
のれん償却額	24	25
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△178	△3
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△146	△377
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△20	2
受取利息及び受取配当金	△315	△261
支払利息	1,294	1,524
為替差損益(△は益)	43	△1,958
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△2,367
減損損失	223	99
固定資産除却損	310	110
売上債権の増減額(△は増加)	4,837	582
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,752	△10,953
仕入債務の増減額(△は減少)	△16,401	3,403
その他の資産の増減額(△は増加)	△3,529	△2,868
その他の負債の増減額(△は減少)	409	△4,318
その他	521	707
小計	18,961	50,786
利息及び配当金の受取額	311	262
利息の支払額	△1,279	△1,510
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,187	△5,553
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,806	43,984
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,502	△27
有形固定資産の取得による支出	△11,298	△12,026
無形固定資産の取得による支出	△8,347	△6,064
店舗借地権及び敷金等の支出	△1,308	△925
店舗敷金等回収による収入	429	493
投資有価証券の売却による収入	—	2,857
その他	△454	△86
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,481	△15,779
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	16,006	△4,708
長期借入れによる収入	2,754	—
長期借入金の返済による支出	△350	△717
リース債務の返済による支出	△6,482	△7,180
非支配株主からの払込みによる収入	—	2,352
自己株式の売却による収入	356	702
配当金の支払額	△5,528	△7,774
その他	—	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,756	△17,327
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	6,730
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△7,863	17,608
現金及び現金同等物の期首残高	125,527	135,359
現金及び現金同等物の中間期末残高	117,663	152,968

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年9月1日 至 2025年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	223,866	110,165	24,420	21,199	379,651	—	—	379,651
営業収入	2,119	176	47	29	2,371	—	—	2,371
顧客との契約から生 じる収益	225,986	110,341	24,467	21,228	382,023	—	—	382,023
外部顧客への売上高	225,986	110,341	24,467	21,228	382,023	—	—	382,023
(1)外部顧客への営業 収益	225,986	110,341	24,467	21,228	382,023	—	—	382,023
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	—	—	—	—	—	579	△579	—
計	225,986	110,341	24,467	21,228	382,023	579	△579	382,023
セグメント利益	24,080	21,366	3,301	3,634	52,382	29	△16,306	36,105

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。
2. セグメント利益の調整額△16,306百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性がないため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自2025年9月1日至2026年2月28日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	中間 連結損益 計算書 計上額 (注)3
	国内事業	東アジア 事業	東南アジ ア・オセア ニア事業	欧米事業	計			
営業収益								
商品・製品売上高	242,133	135,917	33,049	25,007	436,108	—	—	436,108
営業収入	2,210	144	68	18	2,441	—	—	2,441
顧客との契約から生 じる収益	244,344	136,061	33,117	25,025	438,549	—	—	438,549
外部顧客への売上高	244,344	136,061	33,117	25,025	438,549	—	—	438,549
(1)外部顧客への営業 収益	244,344	136,061	33,117	25,025	438,549	—	—	438,549
(2)セグメント間の内 部営業収益又は振 替高	0	—	—	—	0	1,075	△1,075	—
計	244,344	136,061	33,117	25,025	438,549	1,075	△1,075	438,549
セグメント利益	27,495	27,565	4,854	3,986	63,902	59	△18,916	45,045

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、グローバル調達事業であります。

2. セグメント利益の調整額△18,916百万円には各報告セグメントに配分していない全社費用等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性がないため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。